

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定部金貳錢 廣五號十二 休日曜大盤 福島縣石城郡平町長崎町三五
 一ヶ月廿錢 一料字詰一行 日祝日ノ盤 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番
 一ヶ月廿錢 一料字詰一行 日祝日ノ盤 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日八十二月十

科花小内
 柳兒科科
 病科科
 (需應院入)

平町紺屋町
藤沼醫院
 電話園五〇七番

車轉自
 のへ者用乘
 音福

購入の便法あり

エバエス
 キヤビネツト
 日掛けや月掛等の方法に依り望みに
 依つては現品を前渡し致します

平町搔毬小路
 自轉車及
 附屬品店 **鹽野平支店**
 本店 東京市神田區末廣町一〇

拭手
 一、普通品一反二付九拾錢
 一、上品同壹圓五錢
 一、別等品十一本取壹圓拾錢
 (現金値段)

御通知次第見本持参の上御伺ひ申します

名特
 入提價特
 拭手
 供

形代なし
 (但し三十反以上)
 本月廿日より二十七日迄
 (一週間) 御名入手拭
 の特價染上げを致し升
 福島縣平町五丁目
 吉田屋染工場
 (電話五五八番)
 (振替仙台五三二八番)

奥様にゼヒ申上たい事があります
 大和田酒店といふ勉強な店が出来ました
 御用の節は是非(大和田酒店)へ御用命下
 さいませ

品が好く値が安く配達は早く萬事に氣の利くこと
 請合致します

銘酒 清世界 福島縣平町南町二〇番地
 洋酒 各種
 味噌 各種
 醬油 各種
 罐詰 各種

大和田酒店
 電話五五七番
 振替東京七三〇八〇番

綿布 大特價品提供

暴落

一足袋四足 九十錢 一上等布圍皮 壹圓
 一兩毛無地ネル大巾一丈 一染 緋 九十五錢
 一上等裏地 八十錢 一上等正絹縞 壹圓
 一友仙モス(尺) 十錢

三丁目 (電話六十七番)
中野吳服店

常盤毎日新聞

生きる悲哀

生きる爲めには盗むものあり
 り詐るものあり貞節を賣るものあり
 のあり獨逸皇太子妃が巡査と結婚せんとするも露國の貴夫人が旅隊をなすも皆是れ生きたる爲めなり特に自己の一黨を生かさんとする政治家の如きは最も苦心を要す昔は徳川家康の如きは隠忍の方便として我長子を殺せしことあり豊太閤の如きすら罪なき郎黨を制裁せしことあり大局上より見て止むを得ずとは云ひながら政治に携はるるものに對しては氣の毒の情に堪はざるどころあり

敬語卑語の濫用 最も形式を重んずる宮内省に於てすらあまりに多く敬語を濫用することや御の字を如何なることにも用ゆるが如きことは漸次止むる方針なりといふ、我輩思ふに眞に尊敬の實意ありて敬語を用ゆることは結構なれどもさもなくして犬や猫にまで御犬御ちんと稱するが如きは寧ろ人間を侮辱するものなりと信ず、之と同様に謙遜の意志なくして卑語を用ゆるが如きも誤り先方を尊稱し自分を卑稱し自他の區別を明らかならしむるが如きは差支なしとするも愚父と呼び豚兒と呼び拙夫と云ひ刑妻と稱するが如きは故なきことなり私妻私長男にて足るべし

誰か鳥の雌雄を知らんや先きに京都府警察部當局者は非常の勇猛心を以て大學生を檢査し治安を害するものなりとの汚名を與へたり然るに斯かる忠君愛國の警察官中博奕者と聯絡し收賄行為をなしたるものありと嫌疑により檢事局の調査を受けつゝあるものあり、斯かる報道を耳にし予輩は現代に於て如何なる人が眞の愛國者にして如何なる人が偽忠君者なるやに深き感なき能はざるなり學生が料理屋通ひを爲したりとて停學處分を行ひたる學校長が永く美人を圍ひ置きしが如きも是れ亦現世相なりと云ふべし

標商錄登

合

醬味鰹酒罐食
 油噌節類詰品

製造問屋

鹽屋山崎合名社會

電話 營業一部 〇番
 工場 二七番

平町田町 (電話二一四番)

磐城病院

(内科小兒科) 院長 市原卯太郎
 (外科泌尿科) 東北醫學士 市原陸
 (婦人科皮膚科) 日本醫學士 日高忠男

鳥牛鍋 六拾錢
 豚 五拾錢
 (女給さん入用優遇す) 松ヶ岡公園入口
 カフエー松ヶ岡 電話六五二 同二三三番

泌尿婦人科皮梅毒
 外科 阿部醫院
 平町字新川町電話六一五番

事務所新築紀念
 十坪乃至二十坪位ノ小住宅
 格安請負致シマス
 外國材購入及ビ建築ニ關スル事柄ハ何ニ
 ヨラズ御遠慮ナク相談下サイ

平町田町五七 (電話六二番)
丸山喜一郎

美濃表具 玉成堂
 平町田町 元平陽女學校跡

腸胃 專門 內科
 腸虫指 十二指

梅毒 專門 婦人淋病
 肛包門病 專門

院病村松 町南平

北東 北澤の餅 花沢良司商店
 鐵道省御用舖 前駅平

昨日小名濱築港落成紀念祝賀式

築港埋立地に於て

來賓を迎へて盛大に舉行

小名濱築港落成紀念祝賀式は昨日午前十時築港埋立地會場に於て舉行されたが町田農林大臣代理加藤秘書官を初め、川淵本縣知事本縣選出各代議士、縣會議員、各關係者、郡内各町村長等五百名の來賓が参加し定刻川淵知事が開會の辭を述べ中隈土木課長工事經過報告をなした來賓の祝辭演説に移り加藤秘書官が農林大臣の祝辭を代讀しついで多數來賓の祝辭朗讀及び演説等あり正午同會場に於て午餐會を開いて來賓を犒つたが一方協賛會では來賓一同を同町料理店新米及び錦成館の二箇所招待して盛大なる祝宴を開き紀念品等を贈つた

航空船

小名濱訪問

築港竣工式祝賀

霞ヶ浦航空隊一型第五號航空船は野外航空訓練航空思想普及の宣傳を兼ねて二十七日午前八時十分荒木少佐指揮藤吉大尉船長外三名の兵員搭乗で阿見原を離陸常磐線に沿ひ水戸上空を經由同十時頃福島縣小名濱築港竣工祝賀會上空に飛び歡喜に満てる群衆の上空を一周敬意を表したる上直に飛還した

知事の式辭

昨日小名濱に於ける川淵知事の式辭次の如し

縣下小名濱築港等の功竣へ本日茲に竣功式を舉行するに至りたるは本官の觀喜に堪へざる處なり、抑も小名濱港は本縣海岸中その位置南に屬すると雖も銚子鹽谷間唯一優勝の地勢を占め誠に天與の良灣たり、然れども沿海水深淺加ふるに灣内屢高浪の埋塞する所となり船舶の碇泊に便ならざるは甚遺憾とする所なり、殊に軌道遠洋漁業の發達に伴ひ漁船の構造及大さ等に變化を來し従つて漁業の發達と漁船の避難碇泊に適せる港灣なきは本縣の斯業界の不幸たるのみならず、産業發達上一大痛痕事たるを茲に一新紀元を開き本港修等の計畫を立てたる所以なり大正七年十一月工を起し爾來經營八年や工を竣へ茲に一新紀元を開き漁船避難碇泊並に荷揚場その他陸上設備の便を設け營業者の受享する利益甚だ大なるものあるべく將來益々斯業界の開發進展の機運を迎へるを得たるは常に小名濱地方人士の福祉のため亦慶福に堪へざる所なり然れども本港の發達を圖り他は一大良港ならしめんには今後一層進んで海陸聯絡の設備及將來の繁榮に伴ふ幾多の新施設を完ふせんばあらず冀くは沿岸地方の人士愈々奮勵努力し益々拮据精勵事に當り本港の發達に

協力邦家百年の隆昌を期せられん事を一言述べて式辭となす
大正十五年十月二十七日
福島縣知事
正五位勳四等 川淵治馬
野榮組合發會 石城

聞くよりはは樂な

坑夫の生活狀態

千圓の蓄財家も居る
坑夫組合も手持無沙汰

磐城炭坑の現状

常磐炭界でも一頭地を抜いてある磐城炭礦では近頃労働問題が八谷敷く叫ばれ坑夫組合とか労働争議勃發とかに忙殺されてゐる同坑に於ける坑夫生活の實狀を聴くと現在の労働者数は内郷高坂、兩坑を合して總數六千人以上に達し一日平均勞賃が二圓以上に當つてゐる仕事も地下數百尺の暗黒世界で命を削いで働いてゐるから外見苛酷の様にも見えるが想像程の苦痛ではないと云つてゐる、寧ろ坑外労働が骨が折れるらしい、隨つて就職狀態も比較的永



家庭庭欄

トマトジャム

トマトジャムは、トマトの果實をもつて製造したもので愛すべき風味を持つてゐます、トマトは大形中形が

仙臺放送局
來年初頭
より放送開始
年内工事完了
東北のファン達から其實現を待ちあぐまされてゐる仙臺放送局に就ては日本放送協會に就て大體設立に關する計畫をたてたものらしいが未だ具體案が發表されないのが其實現がやぶまれてゐるが運よく年内には設立の準備並に工事に着手し來年早々放送を開始するに至るものらしく之に關しては十一月上旬何等かの方法で協會側から發表されるだらうと

田で大格闘

平署で取調中

石城郡豊間村大字沼内漁夫大平福次郎(三六)は廿七日午前二時頃同村新開山山負吉方納戸に押入らんとした處家人が発見すると駐在所に訴へ出でたので宗像巡查急行追跡し沼田の中で約三十分間に涉り格闘の末逮捕し本署に拉致し目下村上刑事主任となつて嚴重取調中であるが此の他にも餘罪ある見込みである

蜜柑ジャム

蜜柑ジャムは蜜柑の果實をもつて造ります、やはり前に申上げたトマトのやうに、ふるいかウラゴシにかけて袋や種子をとり、どきその液百匁に對して白砂糖百匁の割合に入れて造るのであります、これ、よ味の味のあるジャムを造ることが出来ます

傾城隧道工事進捗

列車複線運轉復舊

大難工事も事なく済んで
實施は愈二十九日から

常磐線湯本、綴間は傾城山隧道の改築工事の爲め單線運轉中であつた工事も順調に進捗したのでいよいよ來る二十九日午前六時二十分土浦發平行の旅客列車から複線運轉を復舊する事に決定した

平陽實科女校

卒業式舉行

終て音楽演奏
平町私立平陽實科女學校師

哀れ炭礦

犠牲者漂泊

一時金は悉く
女房が持逃げ

廿七日午前八時半頃平署人事相談所に兩足を失つた三十歳前後の男が轉げ込んだのを係官が取調たるに右は茨城縣水戸市上市寺町生れ佐久間庄藏(九)と稱し廿二歳の折石城郡勿來町出藏當時の三星礦(大日本炭礦)に坑夫として働いてゐる内落磐のため兩足を粉砕され多額の一時金を與へられたが内縁の妻はつ(三)に持逃げされ棄代にも窮し同僚の情

募集

文藝其他投稿
を募集します

平町人事

婚姻
△内郷村宮炭礦坑會社員 谷口一雄(二九)
古鍛冶町二三 小島モト(二九)